

社会福祉法人さくらの家福祉農園

事業報告書

2020 年度

目 次

目次	p1
I 法人の動向		
1 法人の概況	p2
2 土地及び建物	p2
3 法人組織	p3
II 指定就労継続支援 B 型事業所・指定生活介護事業所「さくらの家福祉農園」の動向		
1 事業所の行事	p7
2 利用者数の状況	p7
3 就労継続支援 B 型事業所利用者工賃支払状況	p9
4 地域生活サポート事業	p9
5 ボランティア・実習等受け入れ状況	p10
6 職員研修・出張状況等	p10
III 「障がいサポート コールラビ」の動向	p12
IV 農園事業の動向		
(1) 農園売上	p14
(2) 作業支援		
1) 農園作業	p15
2) 所外作業	p19
3) 販売活動	p20

I 法人の動向

1 法人の概況

法人の沿革

平成 18 年 10 月 25 日	社会福祉法人さくらの家福祉農園、神奈川県より認可
平成 18 年 11 月	第 1 回理事会が開催され、大谷弘氏が初代理事長に就任
平成 18 年 12 月	施設建物建築着工
平成 19 年 3 月	建物完成
平成 19 年 4 月 1 日	指定就労継続支援B型事業所「さくらの家福祉農園」の運営開始 石井尚美氏が施設長に就任
平成 20 年 4 月 1 日	指定相談支援事業所「さくらの家」の運営開始
平成 20 年 11 月	大谷弘氏が再任され、2 期目の理事長に
平成 20 年 12 月	法人化 1 周年記念報告会開催
平成 21 年 4 月 1 日	村井雄一朗氏が施設長に就任
平成 22 年 4 月 1 日	指定生活介護事業所「さくらの家福祉農園」の運営開始
平成 22 年 11 月	大谷弘氏が再任され、3 期目の理事長に
平成 22 年 11 月	法人化 3 周年記念報告会開催
平成 24 年 4 月 1 日	指定特定相談支援事業所「障がいサポート コールラビ」の運営開始
平成 24 年 5 月	大谷弘氏より法人借用中の土地を寄附 法人 5 周年記念式典、土地寄贈式開催
平成 24 年 11 月	西水紘一氏が理事長就任(第 4 期理事会)
平成 25 年 4 月	法人の管轄が神奈川県から伊勢原市に移譲
平成 25 年 4 月 1 日	指定就労継続支援 B 型事業所の指定更新
平成 26 年 11 月	西水紘一氏が理事長(2 期目)として再任(第 5 期理事会スタート)
平成 28 年 4 月 1 日	指定生活介護事業所の指定更新
平成 28 年 11 月	第 6 期理事会西水紘一理事長(3 期目)
平成 28 年 11 月 23 日	法人設立 10 周年記念収穫感謝祭開催
平成 29 年 3 月	社会福祉法改正により、評議員選任解任委員会が組織され、初めての会合 を開催し、次期評議員 7 名を選任
平成 29 年 4 月 1 日	社会福祉法改正により、新規評議員会(7 名体制)の任期(4 年)が開始
平成 29 年 6 月 14 日	社会福祉法改正による新規定時評議員会が開催され、次期理事を選任
同日	第 7 期理事会が発足し、理事長として、西水紘一理事が再任(4 期目)
平成 31 年 4 月 1 日	指定就労継続支援 B 型事業所の指定更新
令和元年 6 月	第 8 期理事会が発足し、理事長として、西水紘一理事が再任(5 期目)

2 土地及び建物

土地や建物に変更等はありません。

- (1) 土 地 ・ ・ ・ ①伊勢原市岡崎字天神下 7020 番 3 雑種地 84 m²
②伊勢原市岡崎字天神下 7021 番 1 雑種地 884 m²

- (2) 建 物 ・ ・ ・ 伊勢原市岡崎字天神下 6940 番地 2
社会福祉法人さくらの家福祉農園事務所 1 棟
木造合金メッキ鋼板ふき 2 階建 延床面積 207.03 平方メートル

(3) 建物平面図

2階平面図

生活介護事業所用 作業室 19.83 m ²	生活介護事業所用作業室 16.77 m ²		倉庫 5.59 m ²
就労継続支援B型事業所用 作業室 19.83 m ²			
	喫煙	階段	職員用 トイレ 3.21 m ²
			相談室 8.03 m ²

1階平面図

就労継続支援B型事業所用 作業室 26.85 m ²	加工室 7.16 m ²	就労継続支援 B型事業所用 作業室 8.95 m ²	更衣室 7.16 m ²	浴室 3.3 m ²	トイレ 4.4 m ²		
				脱衣所 3.85 m ²	洗面室 4.95 m ²		
事務室 13.63 m ²	玄関	階段	収納	更衣室 4.17 m ²	更衣室 4.17 m ²	通用口	トイレ 3.85 m ²

- (4) 外壁塗装工事・・・法人建物は平成19年に竣工して以来13年が経過し、外壁に様々な老朽化が見られていました。このほど、(株)オンテックス様により外壁塗装工事を行っていただき、これまでの黒とクリーム色を基調とした外壁から、名前のおり「さくら」色に生まれ変わりました。今後も約10年おきに塗り直しの検討が必要になります。

3 法人組織

(1) 法人役員

法人の役員に異動はありません。

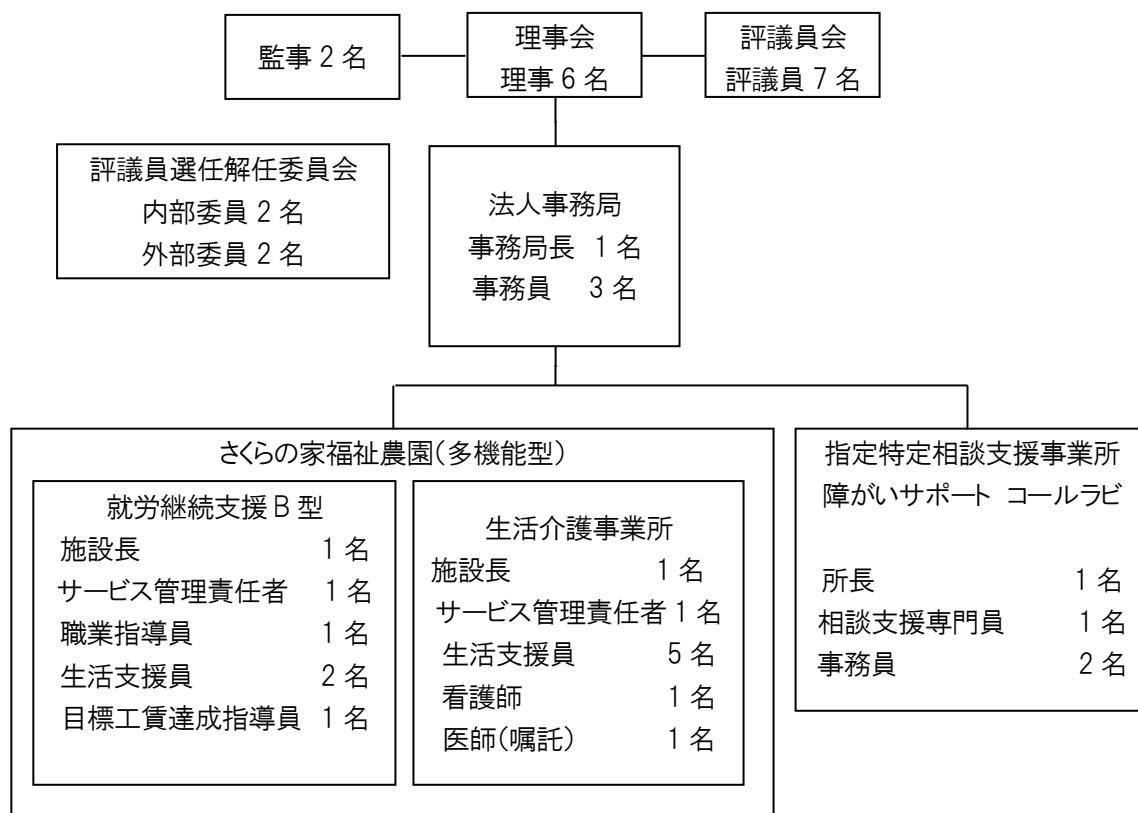
	氏名	任期
理事長	西水 紘一	2019年6月定時評議員会～2021年6月定時評議員会
理事	勝田 俊一	2019年6月定時評議員会～2021年6月定時評議員会
	打田 行男	2019年6月定時評議員会～2021年6月定時評議員会
	石井 正道	2019年6月定時評議員会～2021年6月定時評議員会
	遠藤 岳洋	2019年6月定時評議員会～2021年6月定時評議員会
	村井 雄一朗	2019年6月定時評議員会～2021年6月定時評議員会
監事	中村 逸郎	2019年6月定時評議員会～2021年6月定時評議員会
	高橋 香織	2019年6月定時評議員会～2021年6月定時評議員会

(2) 評議員

評議員に異動はありません。

	氏名	任期
評議員	大杉 あや子	2017年4月1日～2021年6月定時評議員会
	吉田 清子	2017年4月1日～2021年6月定時評議員会
	衛藤 信恭	2017年4月1日～2021年6月定時評議員会
	中台 和子	2017年4月1日～2021年6月定時評議員会
	塚本 富男	2017年4月1日～2021年6月定時評議員会
	川上 道子	2020年4月1日～2021年6月定時評議員会
	長谷 智子	2020年4月1日～2021年6月定時評議員会

(3) 組織図



(4) 理事会開催状況

理事会は、5月、10月、3月に定例会を開催しました。

5月定例会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伊勢原市より発出された「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う決算に係る理事会および評議員会開催の際の留意点について」により、書面開催としました。

10月定例会は、農園新規事業である豆のパッキング事業について審議しました。また、法人表彰で職員の勤続10年表彰を行っています。

3月定例会は2020年度補正予算及び、2021年度事業計画と予算編成を行いました。
日程・内容等については、次のとおりです。

2020年度 理事会実施状況

月	日	名 称	審議事項	可否	出席数
5		5月定例理事会 (書面開催)	第一号議案 2019年度補正予算 第二号議案 2019年度事業報告 第三号議案 2019年度決算報告 第四号議案 常勤就業規則の改定 第五号議案 非常勤就業規則の改定 第六号議案 常勤給与規程の改定 第七号議案 非常勤給与規程の改定 第八号議案 指定特定相談支援事業所「障がいサポート コールラビ」運営規程の改定 第九号議案 2020年度定例評議員会の開催について 報告事項;理事長業務報告	可 可 可 可 可 可 可 可 可	(書面決議)6名 監事2名
10	21	10月定例理事会	第一号議案 農園新規事業について 報告事項;理事長業務報告 その他;法人表彰	可	6名 監事2名
3	3	3月定例理事会	第一号議案 2020年度補正予算 第二号議案 2021年度事業計画 第三号議案 2021年度予算 報告事項;理事長業務報告	可 可 可	6名 監事2名

(5) 評議員会開催状況

2020年度は6月に定時評議員会を行っています。6月は5月の理事会定例会同様、書面開催としました。主な議題は、2019年度決算でした。

2020年度 評議員会実施状況

月	日	名 称	内 容	可否	出席数(欠席)
6		定時評議員会 (書面開催)	審議事項 第一号議案 2019年度決算の承認 報告事項 第一号報告 2019年度事業報告 第二号報告 2020年5月定例理事会内容報告	可	7名 (書面決議)

(6) 評議員選任・解任委員会

今年度の開催はありませんでした。

(7) 法人事務局会

法人体制強化の一環として法人事務局会を行いました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で会合は2回のみとなりました。

2020年度 法人事務局会実施状況

月	日	主な内容	出席者
8	27	法人・事業所状況、10月定例理事会について	理事長、勝田理事、村井
1	27	法人・事業所状況、3月定例理事会について	理事長、勝田理事、村井

(8) 監事の活動状況及び会計指導

今年度も、「確実な経理処理」「透明性のある会計内容」実現のために、定期的に会計指導を受けています。また、法人ガバナンス強化の意味合いからも2名の監事が理事会に参加し、意見をいただいています。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で5月と8月に関しては、定期会計監事監査は資料を監事宅に持込で行っていただきました。

2020年度 会計指導・監事(会計監事監査含)状況

月	日	内 容	備 考
4	27	定期会計指導	1～3月分 日本コンサルティング
5		定期会計監事監査	会計監査(会計1～3月分含む)高橋監事宅(コロナ対策のため)
5		事業監事監査	中村監事宅(コロナ対策のため)
5	13	決算会計指導	日本コンサルティング
5		5月定例理事会	書面開催
8	6	定期会計指導	4～6月分 日本コンサルティング
8		定期会計監事監査	4～6月分 高橋監事宅(コロナ対策のため)
10	16	定期会計指導	7～9月分 日本コンサルティング
10	21	定期会計監事監査	7～9月分 高橋監事
10	21	10月定例理事会	中村監事、高橋監事
1	21	定期会計指導	10～12月分 日本コンサルティング
1	23	定期会計監事監査	10～12月分 高橋監事
3	3	3月定例理事会	中村監事、高橋監事

II 指定就労継続支援 B 型事業所・指定生活介護事業所「さくらの家福祉農園」の動向

1 事業所の行事

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの行事が中止になっています。

2020 年度 利用者行事・自治会活動

月	日	内容	備考
4	1	キックオフ・オリエンテーション	
7	6	避難訓練	火災想定
7	24	アグリフェス	田の草取り・野菜収穫体験
9	22	アグリフェス	稲刈り体験
12	29	冬期休暇	～1/5
3	8	避難訓練	地震想定
3	25	年度末昼食会	事業所内
3	30	アグリフェス	夏野菜の種まき体験
利用者自治会メンバー会議 毎月第 1 月曜日午前中に開催			

2 利用者数の状況

① 2020 年度の利用者登録数推移

就労 B の利用者は、2 名が生活介護に異動しました。年度途中で 1 名が退所し、そのため、全体で 1 名減少しています。

事業種別	性別	2020.4.1 現在	2021.3.31 現在
就労継続支援 B 型事業所 登録利用者 (定員 10 名)	男性	8 名	7 名
	女性	4 名	3 名
	合計	12 名	10 名
生活介護事業所 登録利用者 (定員 10 名)	男性	8 名	7 名
	女性	2 名	4 名
	合計	10 名	11 名
合計		22 名	21 名

2020 年度は、合計利用者数が 1 名増加しました。また、平均区分も一人の利用者が区分 4 から 5 に上がったため、増加しています。この 4 年度間で徐々に増加していることが分かります。

生活介護事業所利用者 障害支援区分推移(平成 29(2017)年度～2020 年度)

	区分	平成 29 年度末現在	平成 30 年度末現在	2019 年度末現在	2020 年度末現在
障害支援区分	3	4 名	4 名	3 名	2 名
	4	7 名	7 名	7 名	7 名
	5	1 名	1 名	1 名	2 名
	平均	3.75	3.75	3.82	4.0
合計		12 名	12 名	11 名	11 名

② 2020 年度 各月の就労継続支援 B 型事業所利用者延人数と日平均利用者数

5 月末に 1 名が生活介護に異動、また、12 月初めにも 1 名が生活介護に異動したため、6 月以降と 12 月以降に稼働率が下がっています。利用者数は 12 名から 10 名に減少（昨年度比 83.3%）しましたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言時、ゴールデンウィーク中、お盆期間中も稼働し、年間稼働日数は増加したため、昨年度の総延利用者数（2800 人日）からの下落率は 9%に止まりました（昨年度比 91%）。

8 月も猛暑のなか開所しましたが、外での作業は午前中のみとし、午後は室内での活動としたこともあり、8 月の利用登録者数（11 名）に対する稼働率は 87.4%で、昨年度（12 名で 80.3%）ほどの下落はありませんでした。

より深刻化したのは、例年稼働率が上がる冬期（12 月～2 月）に稼働率が下がってしまったことです。12 月に 1 名が生活介護に異動したこともありますが、他にも 1 名が精神的に不調となり、欠席がちになったことが影響しています。

2020 年度の稼働日数に対する出勤率は 90.7%（表中の記載なし。昨年度 93.9%）で昨年度より 3.2% 減少し、年々減少傾向が継続しています。日平均利用者数も昨年度（11.0 人/日）と比較すると 9.8 人/日で減少しています。

各月の状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日数(日)	22	23	22	23	21	21	23	22	21	20	20	23	261
総延利用者数 (人日)	245	219	224	234	202	215	241	219	181	176	170	222	2548
日平均 利用者数(人)	11.1	9.5	10.2	10.2	9.6	10.2	10.5	10.0	8.6	8.8	8.5	9.7	9.8
月稼働率(%)※	111.3	95.2	101.8	101.7	96.2	102.4	104.8	99.5	86.2	88.0	85.0	96.5	97.6

※月稼働率は、利用定員に対する割合。

③ 2020 年度 各月の生活介護事業所利用者延人数と日平均利用者数

生活介護では 12 月に 1 名が退所されましたが、5 月からと 12 月から就労 B の利用者が各 1 名生活介護に異動しています。昨年度末に 1 名退所されていたため、総数では昨年度末と同数となります。

昨年度は年度途中で人数が減少したため、それまでの貯金で日平均利用者数が 11.28 人/日でしたが、今年度は年間通して総数が 10～11 名であったため、10.3 人/日でした。生活介護の稼働日数に対する出勤率は 91.5%で、昨年度（90.0%）より若干増加しました（表中の記載なし）。

各月の状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日数(日)	22	23	22	23	21	21	23	22	21	20	20	23	261
総延利用者数 (人日)	208	236	226	241	198	219	238	230	230	207	209	246	2688
日平均 利用者数(人)	9.5	10.3	10.3	10.5	9.4	10.4	10.3	10.5	11.0	10.4	10.5	10.7	10.3
月稼働率(%)※	94.5	102.6	102.7	104.8	94.3	104.3	103.5	104.5	109.5	103.5	104.5	107.0	103.0

※月稼働率は、利用定員に対する割合。

3 就労継続支援 B 型事業所利用者工賃支払状況

2020 年度中の就労継続支援 B 型事業所利用者に対する工賃支払状況は次の表のとおりです。5 月と 11 月は、ボーナスを支払っています。平均工賃月額、11,118 円（昨年度実績 13,284 円）、時給額で 144 円（同 170 円）となっています。いずれも農園事業の規模縮小とコロナ禍の影響を考慮し、年度当初に工賃額を抑えたことによって低くなっています。

2019 年度は過去最低を記録した農園売上でしたが、今年度は 11 月から豆のパッキング事業を開始したことによって、V 字回復しています。

就労継続支援 B 型利用者の前年度の毎月の工賃支払対象者数及び工賃支払総額

対象工賃月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
支払対象者(人)	12	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	129
支払総額(千円)	120	193	112	118	103	109	122	166	96	92	89	115	1434
延べ勤務時間数	964	858	878	920	798	845	945	849	706	677	651	843	9933
延べ勤務日数	245	219	224	234	202	215	241	219	181	176	170	222	2548

今年度の平均工賃 11,118 円/月/人(時給 144 円)

4 地域生活サポート事業

地域生活サポート事業とは、障害者の地域生活を支え、地域での生活へ移行を推進するために実施するもので、県・市が補助を行う事業です。今年度も地域交流等支援事業を実施しました。

本法人では、利用者が地域で豊かに暮らすことをサポートするために、地域住民・家族・施設職員が一体となって基幹作業である農作業をともに体験する機会を作り、お互いを知り障害者の権利を考えながら、地域福祉の在り方を探る取り組みとしています。

今年度は、前述した事項と同様、コロナ禍の影響で行事の多くを中止しています。実績は次表のとおりです。

稲作体験は田植え体験を中止し、田の草取り、稲刈りのみ行いました。収穫したもち米を使用して 11 月にもちつき会を行う予定でしたが、こちらも中止しています。

夏野菜の種まき体験も開催が危ぶまれましたが、年度末ギリギリでの開催ができました。種まきと同時に、小学校の国語の授業で習う「タンポポの生態」について、根が深くまで伸びるといのが本当であることを、実際に深さ約 80 cm の穴を掘り、参加した小学生たちに観察していただきました。

余暇行事としては、今年度も主に陶芸を行いました。昨年度から継続して法人の看板用の野菜の陶板づくりを行っています。

2020 年度 地域交流等支援事業 実績一覧

実施日	イベント名		参加者(人)	備考
7/24(金・祝)	アグリフェス	稲作体験Ⅱ(田の草取り)	24	
9/22(火・祝)	アグリフェス	稲作体験Ⅲ(稲刈り)	30	
3/25(木)	余暇行事	年度末昼食会	33	学校春休み期間
3/30(火)	アグリフェス	夏野菜の種まき体験	14	学校春休み期間
月 1 回	余暇行事	陶芸	78	全 12 回開催

5 ボランティア・実習等受け入れ状況

2020 年度中の実習やボランティアの受け入れ状況は次のようになっています。

コロナ禍の影響で、ボランティア活動については、特別な場合を除いて受け入れを行いませんでした。

神奈川県社会福祉協議会による教職員免許を取得するための実習の一環として行われている福祉介護現場体験の受け入れは、今年度は6名でした。

養護学校の保護者見学会や中学生等の職業体験も中止になっています。

2019 年度中のボランティア・実習・見学等受け入れ状況

団体名等	回数(日)	参加者数(人)	備考
個人ボランティア			受け入れなし
利用見学(体験兼)	7	1	
大住中学校 職場体験			中止
本町中学校特別支援級 職業体験			中止
教職員予定者介護等体験	15	6	神奈川県社協の事業の一環

6 職員研修・出張状況等

2020 年度に参加した職員の研修・出張等の状況は次の表のとおりです。

研修等に関してもコロナ禍の影響で、参加を見合わせています。

また、昨年度サービス管理責任者研修に参加した坂本職員は、現場でのOJTを行っています。

2020 年度 職員研修状況

実施日	研修内容	参加者
7/8、1/13	伊勢原市協議会／就労支援部会	箕輪
7/18	MOA 自然農法ガイドライン更新研修	村井・清水・箕輪
11/24	指導監査講習(神奈川県)	村井

2020 年度 職員出張・会議等状況

月	日	行事等	場所等	参加者等
4	1	オリエンテーション	さくらの家	利用者・職員
4	3	書類提出	伊勢原市役所	村井
4	8	手続き	法務局(厚木)	村井
5	3	馬渡田んぼ水路掃除		清水
6	30	個別支援計画策定会議		
7	7	防災訓練実施報告書提出	伊勢原南消防署	坂本
7	13	ケアカンファレンス	塚本事務所	村井・安川
8	5	ケアカンファレンス	さくらの家	安川
8	11	ケアカンファレンス	伊勢原市役所	村井・安川
8	12	ケアカンファレンス	塚本事務所	安川
10	13	プロジェクト会合	(株)がいあプロジェクト本社	村井・坂本・梅原・風間
10	22	プロジェクト会合	(株)がいあプロジェクト本社	村井・風間
12	15	プロジェクト会合	(株)がいあプロジェクト本社	村井・風間
12	18	ケアカンファレンス	伊勢原市役所	村井・安川
12	24	後期個別支援計画策定会議		
12	28	大掃除		
12	29	冬期休暇(~1/3)		
1	21	GH見学	下落合ホーム	村井・安川
2	18	ケアカンファレンス	伊勢原市役所	安川
3	24	書類提出	平塚労働基準監督署	坂本
3	24	防災訓練実施報告書提出	伊勢原南消防署	坂本
3	25	施設長会(ウェブ会議)		村井

Ⅲ 「障がいサポートコールラビ」の動向

表-1 は障害種別の相談支援利用件数および全体に占める割合および2019年度と2020年度の増減割合です。

2020年度の総件数は563件でした。2019年度と比較すると28.2%となっており、減少しています。

これまでの傾向と同様、知的障害者の割合が60%程度となっています。昨年度出した法人の方針で、相談の規模縮小を図っているため全体で1436件減少しています。各種別にみてもかなり減少しています。

表-1 障害種別相談支援利用件数及び全体に占める割合および増減

障害種別	2020		2019	前年比(%)
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	
身体障害	58	10.3	229	25.3
重症心身障害	3	0.5	4	75.0
知的障害	323	57.4	1188	27.2
精神障害	166	29.5	370	44.9
発達障害	6	1.1	125	4.8
高次脳機能障害	5	0.9	43	11.6
児童(知的)	0	0	6	-
その他	2	0.4	34	5.9
合計	563		1999	28.2

表-2 は、相談支援台帳登録者数および割合および一人当相談件数です。

昨年度同様、一人当たりの相談件数が約8件減少しています(2019年度12.9件/人→2020年度4.7件/人)。

登録者数全体から見た割合でも、知的障害児者中心であることに変化がない状況でした。

精神障害者の一人当たり相談件数が多い状況に変化はありませんが、昨年度と比較すると減少しています。

表-2 相談支援台帳登録者数および割合および一人当相談件数

障害種別	2020			2019
	人数(人)	割合※(%)	一人当相談件数※※	人数(人)
身体障害児者	9	7.6	6.4	12
重症心身障害児者	3	2.5	1	3
知的障害児者	81	68.1	4.0	103
精神障害	15	12.6	11.1	18
発達障害	7	5.9	0.9	14
高次脳機能障害	3	2.5	1.7	3
その他	1	0.8	2	2
合計	119		4.7	155

※ 割合は登録者全体数に対する各障害種別の割合
 ※※一人当相談件数は、表-1の2020年件数を表-2の2020年人数で除した数値。

表-3 は、支援方法別件数およびその割合および前年比です。

前表までの内容と同様に相談件数を減らしたため、各支援内容別件数も減少しています。

割合の傾向は前年度とあまり変化はありませんが、関係機関と連携を取る場面がより多くなっています。訪問や電話相談など、直接的なやり取りを行う場面は減少しています。

表-3 支援方法別件数およびその割合および前年比

支援内容	2020		2019		前年比(%)
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	
訪問	92	13.2	467	23.4	19.7
来所相談	164	23.5	221	11.1	74.2
同行	28	4.0	90	4.5	31.1
電話相談	135	19.3	182	9.1	74.2
電子メール	10	1.4	53	2.7	18.9
個別支援会議	34	4.9	107	5.4	31.8
関係機関	265	37.9	871	43.6	30.4
その他	0	0	6	0.3	-
合計	699		1997		35.0

相談内容別件数は表-4 になります。

「福祉サービスの利用に関する支援」が、全体の半分を占めている傾向は継続して見られます。

相談の総件数・総人数が減少したにも関わらず「不安解消・情緒安定に関する支援」は、その件数も割合も増加しました。それ以外については全て前年比でマイナスとなっています。

表-4 相談内容別件数

相談内容	2020		2019		前年比(%)
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	
福祉サービスの利用に関する支援	330	47.2	1310	49.4	25.2
障害や病状理解に関する支援	30	4.3	101	3.8	29.7
健康医療に関する支援	82	11.7	285	10.7	28.8
不安解消・情緒安定に関する支援	81	11.6	55	2.1	147.3
保育教育に関する支援	7	1.0	53	2.0	13.2
家族関係人間関係に関する支援	113	16.2	334	12.6	33.8
家計・経済に関する支援	16	2.3	102	3.8	15.7
生活技術に関する支援	19	2.7	103	3.9	18.4
就労に関する支援	13	1.9	149	5.6	8.7
社会参加・余暇活動に関する支援	3	0.4	21	0.8	14.3
権利擁護に関する支援	3	0.4	111	4.2	2.7
その他	2	0.3	30	1.1	6.7
合計	699		2654		26.3

表-5 は、年度別市町別サービス利用計画等作成件数を示しています。

昨年度出した法人の方針により、相談件数を減少させる方向性となったため、今年度はさらに相談件数を減少させました。さくらの家福祉農園利用者以外の方は他事業所への移管を行っています。

表-5 年度別市町別サービス利用計画等作成件数

市町名	2020		2019		2018 (H30)	
	計画	モニタリング*	計画	モニタリング*	計画	モニタリング*
伊勢原市	44	95	75	222	95	320
平塚市	8	1	9	13	7	14
その他(2020年度は、横浜市、座間市、秦野市、松田町)	3	4	5	17	13	32
合計	55	100	89	252	115	366

Ⅲ 農園事業の動向

(1) 農園売上

第1表は、2020年度の販売区分別売上金額(2019年度の金額との比較:販売区分別表)を示しています。

農園販売は、さくらの家で直売したものです。外部販売は学校販売やバザー等での販売、わくわく広場出荷はわくわく広場に卸して販売したもの、卸販売はわくわく広場以外の小売店に卸したものです。受注は、花壇整備などの作業受注および豆のパッキング、業者などからブルーベリーの摘み取り依頼を受けたもの等です。個人注文は、個人からブルーベリーの摘み取りを受注したもの、農家からの野菜苗の受注生産が主な内容です。

2020年度の売上は、2017年度レベル(約270万円)までV字回復しました。みかん生産が終了し、特に冬期の収益について課題がありましたが、(株)がいあプロジェクト様からの依頼で豆のパッキング事業が開始されたことが要因となっています。11月下旬からの作業でしたので、通年で作業を行った場合の収益が今後期待されるところです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校販売や各種バザー等外部販売がことごとく中止となったため、外部販売は前年比38.4%となったものの、それ以外は大きく伸びました。豆のパッキング事業導入もさることながら、育苗のためのハウスを1棟建設し、野菜農家からの苗の受注生産が増加したり、切花生産も増加しわくわく広場への出荷量を増加したりするなど、積極策も功を奏しています。

第1表 販売区分別 2020年度売上金額および2019年度売上金額(販売区分別表)

販売区分	2020年度売上金額(円)	2019年度売上金額(円)	前年比(%)
農園販売	995,813	722,219	137.9%
外部販売	120,200	313,330	38.4%
受注(作業・生産)	769,285	531,202	144.8%
わくわく広場出荷	376,184	274,526	137.0%
卸販売(わくわく広場以外)	67,170	63,860	105.2%
個人注文	351,400	206,940	169.8%
合計	2,680,745	2,112,077	126.9%

第2表は、2020年度の作業区分別売上金額(2019年度の金額との比較と前年比:作業区分別表)です。2017年度から2018年度は-29万円、2018年度から2019年度は-18万円と減少傾向にありましたが、2020年度にかけては約60万円(128.7%)のプラスとなりました。

加工品は、前述したとおりコロナ禍の影響で多くの販売会が中止となったことにより、売り上げの中心であるジャム類や柚子胡椒の販売量が減少したことが減収の要因です。

作業に関しても新型コロナウイルスの影響が出ています。

野菜苗・花苗は前述したとおり、ビニルハウスの建設によって育苗場所が確保されたため、大口の注文が受けられるようになり、増収に繋がりました。

切花は切花用の花卉生産を増やし、お彼岸や母の日などに合わせて花束を出荷できるようにしたことで増収しています。

ブルーベリーは夏季の酷暑で作業増加は困難を極めました。利用者・職員ともに頑張り、2017年レベルまで収入が回復しました。

第2表 作業区別別 2020年度売上金額および2019年度売上金額および前年比(作業区別表)

販売区分	2020年度売上金額(円)	2019年度売上金額(円)	前年比
加工物品	508,955	727,532	70.2%
作業	137,000	178,300	75.6%
野菜苗	645,458	430,760	149.8%
花苗・ハーブ苗	322,297	261,692	123.1%
切花	93,141	16,808	554.1%
野菜	112,726	160,410	70.3%
ブルーベリー	334,700	248,120	134.9%
米	14,140	27,840	50.8%
土	56,100	300	18700%
その他	23,943	30,727	78.2%
豆類パッキング	432,285	-	-
合計	2,680,745	2,082,489	128.7%

※第1表と第2表では、2019年度のわくわく広場の集計方法が異なるため、合計金額に29,588円の差が出た。

(2)作業支援

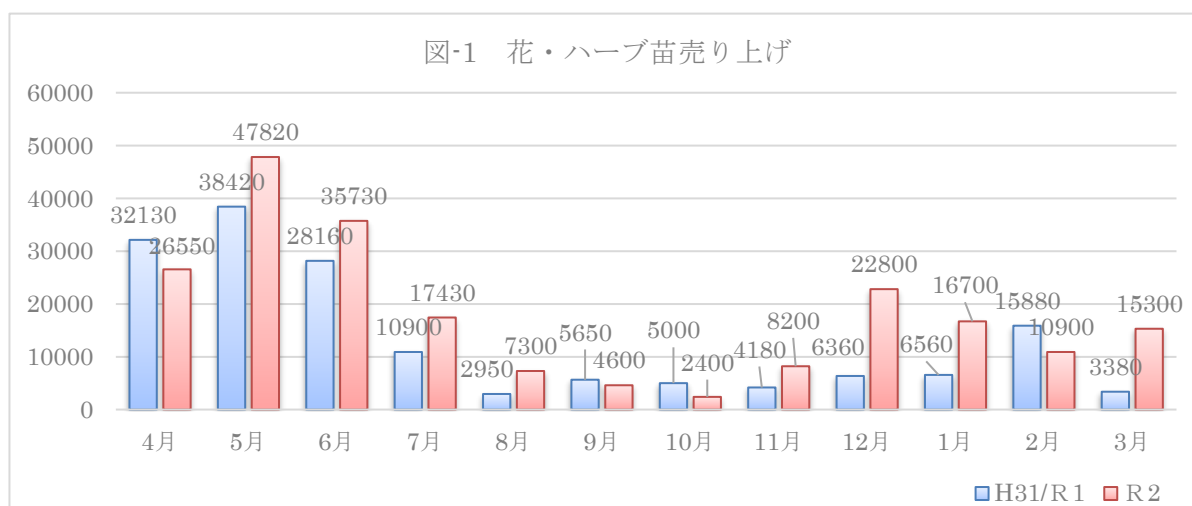
1)農園作業

①花苗生産

春～夏播きは、58品目136品種を栽培しました。昨年より10品種程多く栽培し、切り花用花卉も昨年より増やしました。4月下旬の季節外れの暑さや例年より長い梅雨にも、あまり影響を受けずに育苗することができました。

夏～秋播きは、56品目140品種を栽培しました。夏播きのピオラ・パンジー・ストックが適期に開花するように発芽処理をするなどの工夫も行いましたが、うまくいかなかったため、次年度に向けて播種方法の改良を考えたいと思います。また、12月までの気温がやや高かったことで、開花予定より早く咲き始めてしまう花もあったため、ポットサイズを上げて対応しました。しかし、生育適温よりも低温で降霜により枯死する可能性もあったため、販売に供することができないものも少なからずありました。

利用者は、それぞれ得意不得意が見られました。播種も種の大きさによってできる人できない人が分かれましました。ロゼッタ型(地面に這う形のもの)の花卉に関しては、播種したトレイからポットに鉢上げを行うことは困難でしたが、小さいポットからワンサイズ大きなポットへの鉢替えは比較的スムーズに行えました。基本的に自分の手元に集中して行う作業でしたので、周囲の環境の変化などに左右されにくく、作業に向かうことができていました。



②加工品生産

新型コロナウイルス感染症の影響により、販売イベントや学校販売が中止となり、加工品の売上は特に大きな影響がありました。特にジャム類や柚子胡椒に関しては、「売れた分だけ作る」ことを基本としているため、製造量販売量共に減少しています。しかし、新たに日産自動車テクニカルセンター様のご厚意によって行われた販売会と、その後のメールでの受注販売や、(株)がいあプロジェクト様のご厚意による「ひなたマルシェ」への出店が、売り上げ向上に寄与しました。

また、(株)HOYA 様のエコプロジェクト、伊勢原市役所の自殺防止街頭キャンペーンの啓発物品の受注を継続して受けることができました。HOYA 様からは、1200 個ものハーバリウムマグネットを受注生産したため、この生産が今年度のメインとなりました。利用者も同じ作業が続いて大変そうでしたが、時々違う作業も行いながら、モチベーションが下がらないように声をかけて行ったことで、新しいデザインを生み出し続けることができ、作業を完了することができました。

切花生産は、昨年度までボランティアの方にメインで行っていただいていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で来園が不可能となったため、加工班で行いました。価格はこれまでのものより安くし、出荷量を増やしました。特にお彼岸やお盆、母の日などの前に多く出荷しました。

自然食品嗜好の顧客が多い「ひなたマルシェ」への出店に伴って、ジャムに使用していた砂糖をグラニュー糖からキビ糖に変え、より消費者のニーズに合わせたリニューアルを行いました。

また、これまでわくわく広場には「みかんジャム」系のものしか出荷していませんでしたが、ブルーベリージャムの出荷も始めました。

また、新商品として、ワイルドストロベリーの葉を使ったハーブティーの生産も始めました。

第3表 加工生産品の品目別売上高(2018年度～2020年度)

品名	内容・備考	2020年度 売上高(円)	2019年度 売上高(円)	2018年度 売上高(円)
ハーバリウムマグネット	HOYA様受注分中心	154,630	118,810	-
ブルーベリージャム	ブルーベリージャム・甘さ控えめブルーベリージャム	116,623	128,650	153,200
切花		93,141	16,808	-
みかんジャム	みかんジャム・みかんマーマレード	84,582	114,790	139,450
柚子胡椒	柚子胡椒(赤)・柚子胡椒(黄)	35,400	46,950	56,400
ポプリ	自殺防止キャンペーン受注含む	27,650	100,300	52,600
ハーブティー	カモミール以外	21,000	22,050	21,950
カモミール	カモミール花	12,550	14,600	13,250
ドライ素材リース等	ドライフラワー・ケ・アロマドライナッツ・アロマドライフラワー・リース等	11,930	26,942	66,150
ブラックベリージャム	収量が少ないため、数量限定品	10,800	45,000	36,000
和茶	ごぼう、にんじん、くず、桑、すぎな、どくだみ	10,200	22,700	26,400
ワイルドストロベリージャム	収量が少ないため、数量限定品	6,000	22,200	-
料理用ハーブ	ロリエ・ローズマリー等	6,000	15,350	18,450
ワイルドストロベリーティー	新商品	4,200	-	-
乾燥唐辛子	トウガラシ(鷹の爪)実	2,700	6,500	4,000
その他	大山マラソン応援旗、切り干し大根等	1,390	4,200	3,000
贈答用加工品セット	ジャム・お茶類	-	8,000	16,400
バジリコソース	内販のみ	2,000	7,200	12,500
ハーバリウム	各種花卉類	900	22,400	115,800
	合計	601,696	743,450	704,352

③野菜苗生産

2020年度の野菜苗生産は、前述したとおり育苗ハウス1棟の建造によって、育苗スペースが格段に広がったため、農家さんからの大口の注文を受けられるようになるなど、生産力が上がりました。

農家さんからの受注が大きかった2019年度のナス苗以外は、ほとんどで前年度より増収しています。キャベツやズッキーニ、レタス類、ブロッコリーなどは大半が農家さんからの受注でしたが、春播き以外の苗も受注することができ、収入の一助となっています。特筆すべき部分としてタマネギ苗を初めて受注生産したことです。良質な苗が提供できるかが問題でしたが、播種、灌水、追肥などを丹念に行なった結果、播種量の半分程度でしたが、無事に出荷することができました。利用者も最初から苗取りまで携わり、苦手な作業にも取り組みながら頑張ることができていました。

キャベツ・ブロッコリーなどは、盛夏期の播種となるため、害虫との戦いとなりましたが、防虫ネットで対策を行うことで、出荷までこぎつけています。

1万円以上売り上げた野菜苗について、第4表に掲げています。

第4表 2018年度から2020年度の種類ごとの野菜苗売上高(1万円以上のもの)

品目名	売上高(円)			備考
	2020年度	2019年度	2018年度	
トマト類	210,449	157,297	177,990	トマト・ミニトマト・中玉トマト合計(やまゆり生協様分含)
レタス類	91,934	84,129	38,356	玉レタス・サニーレタス類合計
キュウリ	78,745	31,395	25,244	複数品種
キャベツ	60,784	-	-	農家受注分
ナス類	39,750	54,195	44,806	ナス・長ナス合計(やまゆり生協様分含)
ズッキーニ	33,650	19,420	-	農家受注分
ピーマン	30,370	25,905	35,509	2品種(やまゆり生協様分含)
パプリカ	18,228	16,380	-	2品種、2018年度は1万円未満
カボチャ	15,262	11,424	25,450	複数品種
ブロッコリー	13,395	-	-	農家受注分
トウガラシ類	12,267	15,637	-	鷹の爪、甘長、ししとう、2018年度は1万円未満
タマネギ	11,500	-	-	農家受注分、2019年度までは実績なし
その他	29,124	14,711	51,395	売上高1万円未満の野菜苗の合計
合計	645,458	430,493	398,750	

④野菜生産

2020年度の売上高10位以内の野菜売り上げを第5表に示しています。

今夏も酷暑となったため、栽培には困難を極めました。特に担当者がブルーベリー収穫との掛け持ちであったため、栽培管理が疎かとなり、夏の暑さに野菜が負けてしまい、果菜類の収量は前年度までと比較すると格段に落ちてしまいました。

一昨年度に作付けていたタマネギは、播種時期や追肥などが功を奏し、数年ぶりにタマネギ然としたものが収穫でき、各方面に出荷することができました。また、長ネギも適期栽培を行うことができ、昨年度の倍の収量がありました。

モロヘイヤは久々の栽培となりましたが、こちらも盛夏期を乗り越えて収穫を行うことができましたが、オクラは初期の管理に失敗して、収量は減少しました。

第5表 2018年度から2020年度の種類の野菜売上高上位10傑

品目名	売上高(円)			備考
	2020年度(円)	2019年度(円)	2018年度(円)	
タマネギ	30,848	-	-	2019、2018年度は1万円未満
トマト類	23,175	43,216	34,712	ミニ・中玉・大玉合計
ナス	11,289	39,873	16,600	
長ネギ	9,500	5,300	13,150	
キュウリ	6,095	-	-	2019、2018年度は1万円未満
レタス類	5,350	11,600	-	2018年度はその他
ジャガイモ	3,000	3,380	10,350	
ゴーヤ	2,390	-	-	2019、2018年度は1万円未満
オクラ	2,200	4,610	12,800	
モロヘイヤ	2,200	-	-	2019、2018年度は作付けなし
その他	16,680	28,853		売上高上位10傑以下の野菜の合計
合計	112,727	160,182	173,396	

⑤田んぼ生産

うるち米(品種:はるみ)は、馬渡の田んぼ15aに作付けました。今年度は職員で田起こし、代かき、除草を行い、稲刈りを全体で行いました。相変わらず、ヒエ、コナギ、カヤツリグサなどの雑草が多く、収量に影響を及ぼしています。

田植えは、大谷前理事長からご寄付いただいた乗用の田植え機を使用して行ったため、整然と植えることができました。

稲刈りは雑草が多いため、稲刈機を使わずに刈払機を使って刈り払い、倒れた稲束の中から雑草を抜き取るという作業を行いました。機械を使うと利用者の出番はありませんが、雑草が多いことで利用者が活躍できるという皮肉な結果を生んでいます。

脱穀、籾摺りは、今年度も自分たちで行いました。また、その後の乾燥は、ビニールハウス内にコンテナを置き、その上で行いました。1~2日で乾燥していました。

もち米は、バッティングセンター裏の森氏からの借用地で栽培しました。こちらは、アグリフェスの参加者と一緒に栽培を行うイベント中心の田んぼとしました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響でアグリフェスのうち、田の草取りと稲刈りしかできませんでした。餅つき会も開催できなかったため、収穫したもち米は一般販売に供しました。

今年度も、利用者さんに米選別を行なっていただきました。欠けた米や石、雑草の種子などを除去する作業を丹念に行っていただくことができ、良い米の選別ができていました。

第6表に2017年からの収量を示しています。

第6表 2017~2020年度 うるち米およびもち米の収量および売上高

種類	収量			
	2020	2019	2018	2017
うるち米	115 kg	115 kg	180 kg	200 kg
もち米	15 kg	3.8 kg	20 kg	40 kg

⑥豆パッキング事業

前述したように、今年度 11 月下旬から豆のパッキング事業が開始されました。元来、NPO 法人貴有意の郷様の就労継続支援 B 型事業所で行ってきたものですが、活動場所移転に伴い後継施設を検討していたところ、ブルーベリーの収穫依頼を受けていた「晴れ屋」店長様からお声がけいただき、2 か月ほどで実施にこぎつけました。

貴有意の郷様では、活動の都合で 1 日 200 パックまでしかパッキングを行っていなかったとの事でしたが、当方では、利用者二人に職員二人という手厚い体制で臨んでいることもあり、200g パックであれば、1 日(作業は半日のみ)に最大 300 パックはこなせるようになっていきます。利用者さんの担当箇所は豆を計量カップに入れて袋に詰めるところまでですが、豆の種類によって 1 粒の大きさや重さが異なるため、計量カップにどの程度入れるか変わります。多少の誤差はありますが目検討で大体の量を入れることができるようになっていきます。その後は職員が正確に計量し、エージレスを入れ、空気を抜きながらシーラーで封入し、整形します。

2020 年度は、11 月下旬から 3 月の作業でしたが、12 月～2 月までに需要が多いと言われていたとおり、豆類の総合計で約 12000 袋の作業をこなしました。中途からコーヒーの生豆のパッキングの依頼もあり、別途強力なシーラーを準備する(がいあ様で購入)などして対応しました。

第 7 表 2020 年度 種類別豆パッキング個数と金額

種類	1kg パック		200g パック	
	個数(袋)	金額(円)	個数(袋)	金額(円)
小豆	2,066	92,970	3,446	103,380
大豆	1,373	61,785	747	22,410
黒大豆	416	18,720	1,040	31,200
手亡豆	409	18,405	600	18,000
金時豆(再作業分含む)	179	8,055	599	17,970
黒千石大豆	240	10,800	450	13,500
うずら豆	60	2,700	150	4,500
再パック分(他社作業分)	2	90	8	240
合計	4,745	213,525	7,040	211,200
コーヒー				
生豆 グアテマラ	78	3,510	/	/
生豆 東ティモール	28	1,260		
生豆 ベルー	24	1,080		
生豆 タンザニア	9	405		
生豆 エクアドル	29	1,305		
合計	168	7,560		

2)所外作業

①花壇整備

6、9、12 月に市役所、図書館、愛の森学園、3 月に市役所、図書館の花壇整備を行いました。愛の森学園は、緊急事態宣言が発出されていたため、中止しました。それぞれ 10,000～12,000 円分の花苗を植えています。市役所、図書館は一般の方が行きかう中での作業でしたが、通行人が作業の様子を見て声をかけてくれた際に、利用者さんが植えている花の名前を答えることができるなど、適切なやり取りができていました。また、苗や使用する道具を通行人の邪魔にならないように置くことができていました。

②ブルーベリー収穫

今年度も大井町にあるブルーベリーガーデン旭様で収穫作業を行わせていただきました。今年度は7月16日から9月11日までの火・木・金曜日に、合計23回行いました。利用者は、3名の施設外就労者を中心に収穫を行いました。ブルーベリーの収穫作業は9年目となり、継続して作業を行っている方は、良質なものを多く収穫できるようになっています。

2018年度から2020年度の収穫回数と収量を表8に示しています。ここ3年度間の収量の中では、回数、収量、収益ともに最多でした。このところの酷暑で、昼をまたいでの収穫作業は困難を極めるため、午前中だけ作業を行っています。そのため一日の平均収量は減少しています。

第8表 2018年度～2020年度のブルーベリー収穫の回数と収量

	2018年度				2019年度				2020年度			
	収量 (kg)	回 数	平均 (kg)	粗利益 (円)	収量 (kg)	回 数	平均 (kg)	粗利益 (円)	収量 (kg)	回 数	平均 (kg)	粗利益 (円)
合計	110.17	12	9.18	199,354	122.15	14	8.73	264,295	178.13	23	7.74	365,036

3)販売活動

利用者が関わった主な販売活動は次表のようになっています。

学校販売等や、不特定多数が入出場する昨年度まで参加させていただいたバザー等は、全て中止あるいは参加不可能となったため、外部での販売は全体で8回に終わりました。

そのようななか、豆のパッキング事業で繋がりをいただいた(株)がいあプロジェクト様がその本社倉庫で毎週末行う「ひなたマルシェ」にお声がけいただき、10月から月一回参加させていただいています。販売物の特定も特にされていないため、生産物を皆様に紹介することができるよい機会となっています。

卸出荷では、恒例となった「やまゆり生協」様への夏野菜苗の出荷を行なっています。トマト、ナス、ピーマンを合わせて569本出荷しました。GEN様は地元の飲食店です。晴れ屋様は、豆のパッキング事業を始めるきっかけとなった本厚木にあるレストラン・自然食品販売店です。ブルーベリーの収穫依頼が最初で、野菜も販売していただけることとなり、その後豆のパッキング事業の話が入りました。ライブレストラン・ミッシェルは、(株)タウンニュースエンタテインメントが経営するレストランでこちらも以前、ブルーベリーの収穫依頼を受けていた繋がりがあります。

第8-1表 2020年度 販売活動状況

販売場所	販売日	実績	参加利用者数	売上高	平均売上(1回当)
ひなたマルシェ	毎月第3土曜日	8回	7名	72,160	9,020
※MOA小田原会館、湘南養護学校、伊勢原養護学校、平塚養護学校での販売はすべて中止					
出展名(販売場所)	月	日	参加利用者数	売上高	備考
日産販売	12	7,8	1名	35,150	7日は委託販売

第8-2表 2020年度卸出荷状況

卸先	金額		備考
	2020年度	2019年度	
やまゆり生協 様	67,170円	39,780円	夏野菜苗(トマト・ナス・ピーマン)の出荷
GEN 様	11,000円	6,970円	食材としての野菜の出荷
晴れ屋 様	69,000円	-	(株)がいあ様 野菜・加工品・ブルーベリー
ライブレストラン・ミッシェル 様	19,600円	-	タウンニュース ブルーベリー・玉ねぎ